

ARDECO NEWS 3号

Decoration Construction Material

ARDECO

iDecom

株式会社インターデコム
〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目25番13号
浜松町NHビル7F

TEL 03-6452-8901 FAX 03-6452-8904
E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

装飾建材 **アルデコ**

ブライダル施設の成功事例から 見る、設計デザインとアルデコ

建築家 齋藤徹朗 氏が語る

「THE CANAL HOUSE」

建築家 鈴木敏夫 氏が語る
人気のハウスウエディングの設計デザイン

特別企画

チャペル&バンケットの設計計画提案

低コストの施設建設/デザインとマルチな運営で、空き日の活用提案

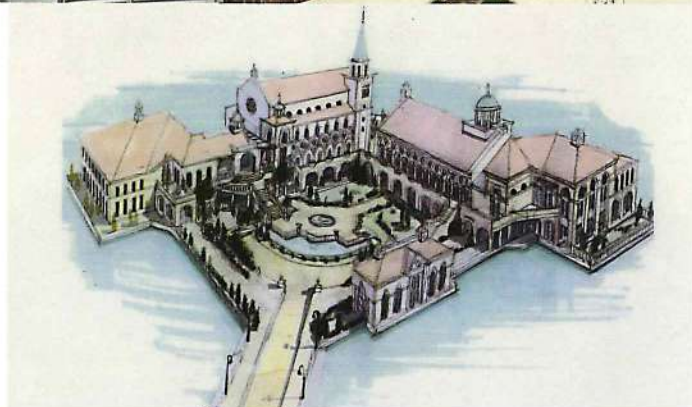
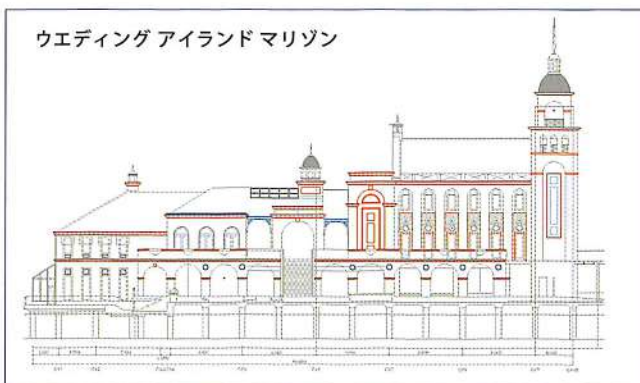
ホームページもご覧ください

<http://www.interdecom-co.com>

ブライダル施設の施工事例から見る、 設計デザインとアルデコの関係



ウエディング アイランド マリゾン



ウエディング アイランド マリゾンやセント・マーガレットウエディング、アニヴェセル、パーティーレなど数多くの式場を手がけてきた、有限会社ファクトリー 代表取締役 齋藤 徹朗氏に、式場づくりのお話を伺いました。

本物を現代風に かわいらしくアレンジ

私は、設計デザインする時は、様式にはこだわるが、現代風にアレンジをします。そのままでは重厚すぎてしまうためです。時々勘違いして、本物をそのまま真似たまま作ってしまい、失敗しているところがある。本物は確かに素晴らしいが、結婚式場は明るく、華やかさが大事。基本はかわいらしく、そして、光彩の美しさで感動をあたえる事です。クライマックスの演出（涙）が大事だ。

既存の式場を増築できず！ 改装のみでリニューアル

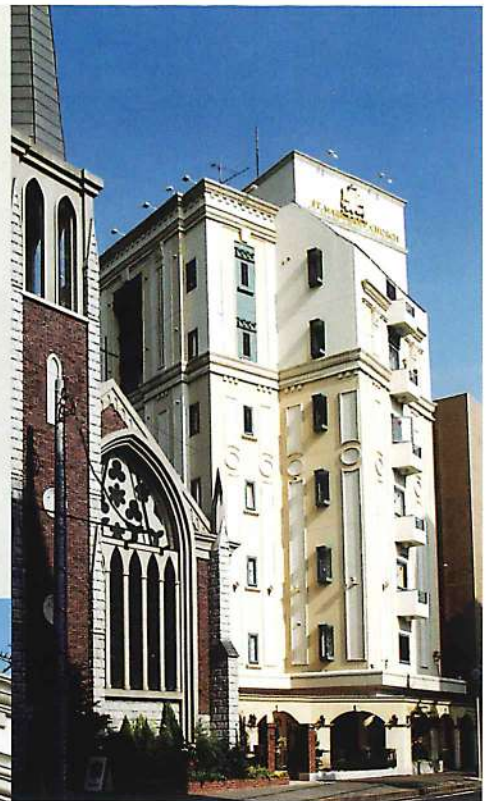
「ウエディングアイランドマリゾン」の設計では、ロケーションが海だったため、オーナーとも考えが一致し、ベネチアの町をモデルにしてデザインを考えました。当初、市営の結婚式場で、安いのが人気の無い式場でした。それを、増築をせず、改装のみで既存の建物をリニューアルしなければなりません。つまり、装飾でしかイメージを変えることしかできなかった。そんな時にアルデコに出会いました。

設計のデザイン変更現場で対応 形を変えることができるアルデコ

装飾部分の多くがアルデコを使用しています。ほかの製品に比べ、加工性が高い。これは、他部材の取りあい対応はもちろん、設計デザイン変更にも、その場で対応できることが魅力だ。改修の建物では既製品だけの対応が難しいことも多く、柔軟に対応できるアルデコは欠かせなかった。既製品には無い、自分で建築物を造っている気がする。クラフト性がある面白い材料だ。



セント・マーガレットウエディング



自然の美しさ、自然石のイメージを演出できるアルデコ

アルデコは仕上がりがきれいだ。自然石をひとつひとつ積み上げたように見える。自然石のマチェルだ。今度、トラバーチン風なアルデコも使ってみたいと思っている。自然石では非常に高いが、アルデコなら表面テクスチャーも思いのまま、低コストでできるメリットは大きい。

工期半分以下に短縮 大幅なコストダウンを実現

アルデコの最大の特長は、工期を大幅に短縮できることである。他の工事との絡みも無く、たとえばFRPなら、補強工事が必要だが、アルデコは建築物の上につけることができる。マリゾンでは通常の工事であれば5ヶ月はかかるところを、約2ヶ月に短縮できた。さらに接着工法によりビスも使用しない。よって材料や工期の面から大幅なコストダウンを実現した。事実マリゾンは非常に装飾部分が多い建物だ。これを従来品でやっていたら、莫大なコスト増へとなっていただろう。

地震に強いアルデコ 台風にも強いアルデコ

福岡地震のとき、マリゾンへ渡る橋が落ちました。その下に活断層があったためだが、このときはさすがに、施設への被害を懸念せずにはおれなかった。幸いにも施設に甚大な被害もなく、アルデコへの影響は皆無であった。また、福岡は台風の通過が多いが、台風時にもアルデコは強く、大きな修復は今まで起きてない。

生きている施設 変化を楽しむがコンセプト

「セント・マーガレットウエディング」の設計では、南フランスのエズ・ヴィラージュをコンセプトにデザインをした。エズの村は街角を曲がる度に、新しい出会い・発見がある、とても楽しい村です。古い村ゆえに、常にどこかで修繕が行われていて、それが絵になるとても美しい村です。セント・マーガレットウエディングにもエズのような、常に新鮮な発見があり変化し続け、永遠の完成の無い、生きている施設にしたい。生活感がし、楽しみがある施設を目指しています。

式場単体から、複合施設へ 生まれ変わっていく施設

現在のブライダル業界はすでに飽和状態。今後は式場だけを作るのではなく、レストランやコンサートホールなどを作り、式場単体から変化させて、施設の集合体、複合施設に生まれ変わらせるつくり方になっていくと思います。

WEDDING ISLAND MARIZON

<http://www.marizon.jp>

福岡県福岡市早良区百道浜 2-902-1 地先
Tel. 092-823-0888 Fax. 092-822-7737
営業時間 10:00~19:00 (年中無休)

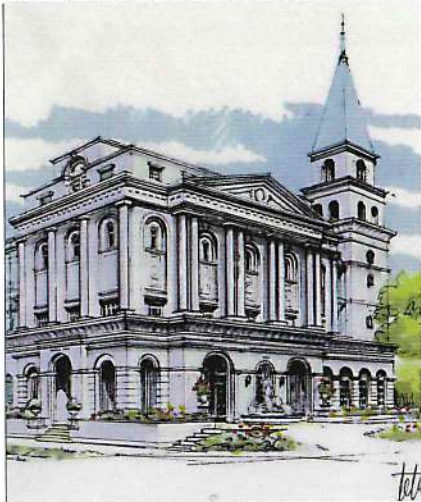
ST.MARGARET WEDDING

<http://www.st-margretco.jp>

千葉県柏市東上町 3-38
Tel. 04-7168-8333 Fax. 04-7168-8332
営業時間 10:00~20:00

大学では航空工学を学んだ異色のデザイナー

はじめ、建築家になるつもりはなかった。大学では航空工学を学んだが、就職の時、当時航空機事故が多く就職先がなかった。たまたま、博報堂のアルバイトで日産のショールームなどを手がけ始め、これが面白く感じた。また、二科展で特選を取ったことがあって、絵の道に進む機会もあったが、プロの画家につくように言われ、それがいやで断った。結局面白いと思った内装やディスプレイの仕事をし、約20年前に現在の有限会社ファクトリーを作った。現在の自分を思うと、まさか結婚式場を作るとは思わなかったなあ。



ハウスウェディング設計は動線が一番むずかしい しかし、そこに自信がある!!

設計の仕事は、商業施設を中心に手がけてきたが、結婚式場は6~7年前にアニヴェルセル表参道を初めて手がけた。式場は商業施設とまったく動線が違い、そこが難しいと感じた。ハウスウェディングの挙式動線は1WAY。決してほかの組と鉢合わせしてはいけない。完全なプライベートを演出しなければならない。それは、主賓だけでなく、招待客も同じである。雨の日もある。このときも決して他の組と合わない動線を考えなければならない。いろいろな状況を想定し、裏方であるスタッフの動線も考慮し、複雑に絡まっているが、すべてがスムーズに且つ、プライベートを演出する動線。バンケットの数が多くなればさらに難しくなる。しかし、私は自信を持って設計できる。実際、過去に1日7組を捌くハウスウェディングの設計をした経験がある。さらに、ハウスウェディングでは、その動線ゆえに、通常の敷地の1.5倍~1.7倍の面積が必要とするが、それも抑えながら、設計できます。

情報を3次元で捉える 特異な能力

設計デザインするとき私は、まずデザイン、絵から入る。平面からは描けません。頭の中に3次元の絵が浮かんで、それを紙面に描きます。私のスタッフはそれを図面化するので、大変だと思いますよ。情報を記憶する時にも文字ではなくヴィジュアルで記憶します。小さいころ汽車の絵を真横から見た絵ではなく、斜め横から見た絵を描いたら、「父にお前の汽車は変な絵だ」と言われたことがあります。昔から、自然に物を3次元で捕らえていたようです。捕らえた情報は、必ず立体で検証して記憶します。

思いのままにデザインできる アルデコとの出会い

彫刻や絵を描くのが好きで、ウインドディスプレイの仕事で、義岩を作ったのが発泡材との出会いです。その後、発泡メーカーを探し、失敗を繰り返していたら、アルデコに出会いました。FRPはアルデコに比べ、コストが高く、既存の型でしか作れなかったり、クラフト性がないので、面白みがないです。アルデコには、ものすごく期待している。設計者に近づく製品づくりをして欲しい。

一級建築士事務所

有限会社 ファクトリー 代表取締役 齋藤徹朗

本社：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-14-32-501
原宿アパートメンツ

Tel. 03-3423-2191 FAX. 03-3423-2192



齋藤徹朗氏 プロフィール

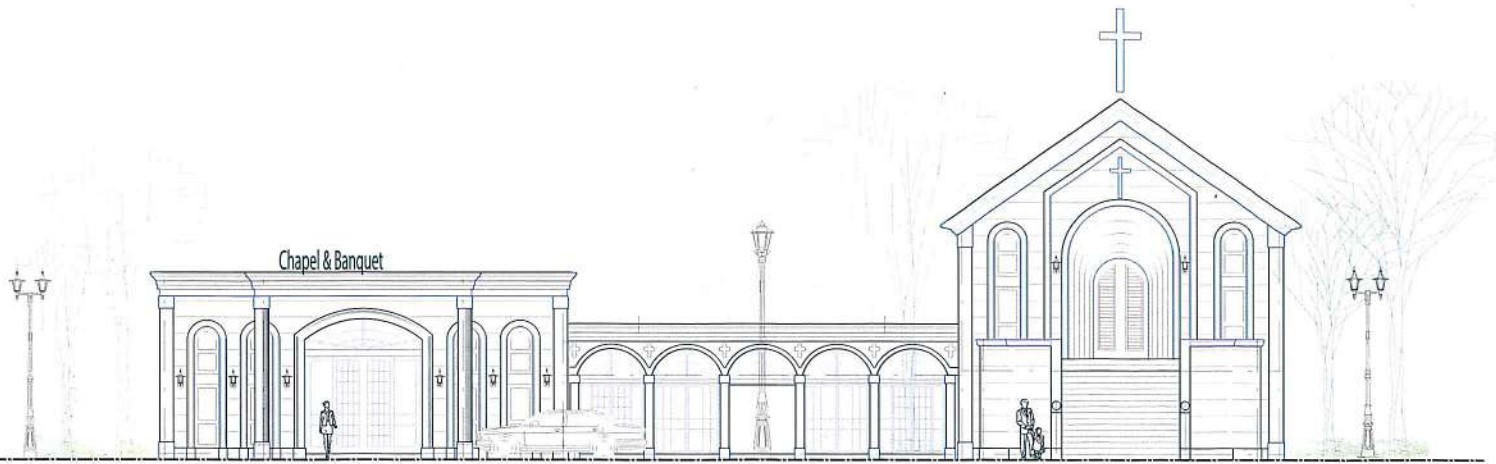
昭和44年 日本大学理工学部
機械工学科 航空専修コース 入学
昭和48年 同大学中退
以降、個人で(株)博報堂の仕事を中心に手がける
昭和57年 有限会社ファクトリーを設立。現在に至る。



主な設計・施工

アニヴェルセル表参道	東京	バルティール神戸ウェディングビレッジ	兵庫
アニヴェルセル・ヴィラ ヨコハマ	神奈川	ラバンビル (改修)	神奈川
セント・マーガレットウェディング ライン館	千葉	ホテルオークラ (アカデミアパークフラワーショップ)	東京
ウェディングアイランドマリゾン	福岡	コートダジュール 武蔵藤沢	埼玉
バルティール長野 迎賓館	長野	コートダジュール 四軒家	愛知
バルティール柏 迎賓館	千葉	コートダジュール 82 店舗 (02~05)	全国
バルティール大阪 迎賓館	大阪	快活 CLUB 南行徳	千葉

特別企画/ チャペル&バンケットの企画設計提案



玄関側正面図



Chapel & Banquet の計画概要

建築構造：鉄骨造平屋一部2階 外壁サイディング
 延床面積：397坪
 式場収容人数：80人（立食100人）
 総建築費：320,000千円 800千円/坪単価
 アルデコ装飾費：14,000千円 35千円/坪単価

設計企画

一級建築士事務所
 (株) アーキテツ インターシン 渡辺久英
 東京都港区虎ノ門 1-20-9 Tel. 03-3592-6363

「チャペル&バンケット」のそれぞれの地域でのマルチな運営企画

結婚式に於いて晩婚化が進み、資金的に余裕のある30代のコダワリ派のカップルが、お仕着せでないプロデュースを希望し、祝福される側から、もてなす側で招待客を親しい人に絞り、食事を贅沢にし、趣向を凝らした結婚式を挙げる。

このような最近人気のあるスタイルのチャペルと自宅で行う欧米流のホームウェディングを運営の主要部門として売上を確保。このウェディングパーティ部門は、半年前からの長期前予約で運営想定ができる予約のない週末。または平日の近々の予約運営に二通りの方法がある。

1. ウェディングフェアを催すことで、次の予約獲得を期待する結婚式イベントの延長
2. チャペルの持つおしゃれな雰囲気を活用した、地域密着型小イベントの運営企画
 - a. 商品の展示即売会とコンサート
チャペルでのコンサートと商品発表と食事会併用の、宝飾品・化粧品などの展示即売会ファッションショーと即売会とティータイム 顧客を招待しての新製品の発表会
 - b. 家族やグループのイベント
金婚式、長寿の祝い、お宮まいり、七五三、同窓会、謝恩会、卒業グループパーティ、スポーツクラブの出陣式・祝賀会などのマルチな運営企画を提案する

「チャペル&バンケット」の設計計画

一般のホテルなどの宴会場とは異なり「チャペルを擁したバンケット」を中心に回廊式の中庭やウェルカムホールなどで包括的に取り囲みながらガーデンホールでこの地域に有効に開放させる。それぞれのホールの回廊側のテラス戸を開放することでこの空間が一体になれる平面構成を採用。また、それぞれが個性的なコーナーを表現する中庭に開閉式ガラス屋根を設け、雨の日を演出。

正面のデザインにおいてもチャペルのみ三角屋根を採用。その地域のシンボルマークとしてチャペルの存在を強調し、他の施設は四角の単純な構成の構造体とすることで躯体を低コストに誘導しながらメリハリをつける。

その荒削りな躯体に優美なアーチを取り入れた「アルデコ」の装飾によるドアや窓廻りの表現を中心に、中庭回廊の柱間にもそれぞれ開放したアーチを施し、化粧柱や屋根廻りのモールディングによる華麗さの演出で仕上げられ、ほのぼのとしたライトアップの中に垢抜けた欧州的デザインの「チャペル&バンケット」の誕生を見る。

装飾材を効果的に採用する事で、全体の施設投資額を抑えて「費用対効果」を発揮でき設計計画を提案する。

人気のハウスウェディングの設計デザイン



現在多くのハウスウェディングの建設が行われていますが、その中で、好評を博している、THE CANAL HOUSE を設計した 株式会社 敏 建築設計事務所 代表取締役 鈴木敏夫 氏にお話を伺いました。

ホテル型とハウス型 ウェディングの2極化

現在のブライダル業界はすごい速さで変化しています。その中で大きくホテル型ウェディングとハウス型ウェディングに分かれています。豪華にそして多くのお客様を招いて、披露したいと望む方はホテルで挙式し、少数の親しい友人や親族だけの内輪でこだわった挙式を望む方はハウスウェディングでしょうか。

アメリカの大邸宅にあこがれる日本人

ハウスウェディングの特長は、自宅でホームパーティを催す気軽さと、主賓が招待客をもてなす要素を含みながら、映画などで見られる、アメリカの大邸宅で行われるパーティーの雰囲気を持つことです。日本では一般的に、アメリカの邸宅のような広さはなかなか望めません。人は自分にはないものに憧れますから、

憧れの実現と、さらに隠れ家的演出によって、特別感意識を盛り立ててくれるハウスウェディングは人気なのだと思えます。

THE CANAL HOUSE は本物志向 建築様式を取り入れ、デザインする

THE CANAL HOUSE はバンケットにザ・カナルハウス、カナルヒルズ迎賓館。そして、庭園内にチャペルを持つ、ハウスウェディングです。私の設計デザインはオーナーの意向をもとに、それにあったヨーロッパの建築様式を模倣し、さらに現代風にバランスよく設計デザインします。THE CANAL HOUSE は、ギリシャ様式を取り入れた施設になっています。はじめはアメリカの邸宅風でしたが、結局アメリカの建築はヨーロッパの建築様式を簡素化して取り入れたものですから、大元の様式を取り入れた方が、より本物に近づくことができるため、ギリシャ様式へと変更しました。

デザインにあたって 数多くの本物の建築を見て 目を養うことが大事

建築様式を取り入れるには、それをきちんと理解していなければ現代風にアレンジも利きません。半端な知識では、おかしな建物になってしまうのです。私もよくヨーロッパに行って勉強してきます。若い者にも、遺跡と現存する建物をバランスよく見て、学んでこいといっています。遺跡は建築様式の基礎ですが、現代では建てられません。ルネッサンス様式～アールヌーボー時代の建築あたりが現代の建築に役立つと思います。建築様式は遠い昔にすでに確立しています。模倣し、その時代ごとにアレンジして作りあげています。ですから、私のデザインも先人も遺産を参考にした折衷様式かと思えます。

THE CANAL HOUSE / THE CANAHILLS 迎賓館

<http://www.canalhouse.jp>

茨城県古河市松並 2-18-20

Tel. 0280-31-2111 Fax. 0280-31-2112

営業時間 9:00~20:00 (水曜定休)

駐車場 180台 (無料)

常に新鮮な驚きを与える施設設計

THE CANAL HOUSE は常に変化を考えています。永遠に完成しない施設とっていいかもしれません。しかし、そこがとても面白。今度はどこを変えようかと常に頭の中にあります。施設訪問者をあきさせない仕掛けを思索しています。もちろん本物を取り入れての変更です。そして、それが受け入れられるのか、試されるのが楽しみです。

建物と庭園は一体 施設デザインと 同時に庭園のデザインも

ハウスウェディング施設に庭園はつきものです。ですから、設計の際には必ず庭園も一緒にデザインします。そうしないと建物とのバランスがとれません。建物に合った庭園があってこそ、施設は完成するのです。設計者が庭園をデザインするというのは難しいものです。木や花の種類まで選択しますから、建物設計より難しい。THE CANAL HOUSE の庭のデザインは、建物に合わせてきちんとモデルがあり、亜熱帯地方の庭のイメージでつくっています。

ウェディング施設での モダン建築は失敗する

それからやはり、結婚式は華やかさがが必要です。モダン建築スタイルの式場は、ほとんどが失敗しています。昔の様式（ルネッサンスなど）の方が人気があります。身近にあるモダンに新鮮さや感動は少ないのでは・・・また、教会は天井の高いほうがいいです。こればかりは一般の人でもわかります。日常にない、天井の高さに感情が揺さぶられるのです。ですから、施設内の天井の高さも重要です。

施主の直接支給による コストダウン化で実現 メリハリのある華やかなデザイン

THE CANAL HOUSE でもっとも苦労した事は、いかにディテール部分に

費用を回せるかです。結婚式場の建物には華やかさが欠かせません。ヨーロッパ建築様式を取り入れ、ディテールにこだわり、予算を考慮した上で、いかに建物にメリハリをつけられるかを常に心がけていました。日本では、建設費の中で人件費が大きな割合を占めます。いかに手間のかかる仕事を簡略化、または簡素化し、デザインにかかる費用を捻出するかが課題です。最近では、建築材料を外国において安く調達し、施主に直接購入してもらうことで、少しでもデザインにかけられる予算を確保しています。

本物(石)に近いところが アルデコの採用理由

アルデコを採用したのは、予算の中でディテールにこだわり、建物にメリハリをつけるために、重量のある石材を模し、簡易に製作できる点が大変便利だったからです。類似商品が出回っているが、アルデコの持つ

硬さはほかには無い。あの硬さが石らしさを出している、そして尚且つ軽い。

それから、材工売りではなく、材料売りでアピールすべき。材料だけのほうが断然安い。将来的に、アルデコの石像を低コストでできるようになれば、さらにいいね。もっと使える幅が広がる。

現代では作れない本物を 求める施設が選ばれていく

今後のウェディング業界の目指しているところはひとつではないと思う。しかし、結婚式を挙げるカップルは、普段接することのできない本物の施設で、一生に一度、自分のプライドを最大限満足させられる挙式を行いたいと思っているのではないかと思います。極論ですが、現代では作る事のできない、本物（宮殿）にできるだけ近づける施設になっていくと思っています。



木や花の種類まで選択された庭園設計

株式会社 敏 建築設計事務所 代表取締役 鈴木敏夫

本社：〒114-0023 東京都北区滝野川 7-3-2-307 互恵板橋ハイム

Tel. 03-3910-4838 FAX. 03-3916-3888

支所：〒306-0036 茨城県古河市中央町 2-3-11 睦ハイツ

Tel. 0280-22-4770 FAX. 0280-22-6698



最新の建築作品
晃陽看護栄養専門学校（5号館）
茨城県古河市東 1-5-26

鈴木敏夫氏 プロフィール

昭和44年 日本大学理工学部卒

卒業後、南海辰村建設(株)、(株)桂建築設計事務所

昭和48年独立。

当初、構造建築設計をしていたが、昭和51年ごろより意匠設計をはじめ。現在に至る。



ARDECO NEWS 3号

Decoration Construction Material

ARDECO

iDecom

株式会社インターデコム
〒105-0013 東京都港区浜松町一丁目25番13号
浜松町NHビル7F

TEL 03-6452-8901 FAX 03-6452-8904

E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

装飾建材 **アルデコ**

人気のハウスウェディングの 設計デザイン

建築家 鈴木敏夫 氏が語る

ブライダル施設の成功事例から見る
設計デザインとアルデコ

建築家 齋藤徹朗 氏が語る

特別企画

チャペル&バンケットの設計計画提案

低コストの施設建設×デザインとマルチな運営で、空き日の活用提案

ホームページもご覧ください

<http://www.interdecom-co.com>

2006. 7